

令和 5年 10月 28日

## 今後の世話役活動の展開について

### 1. 高齢者サロン運営の課題

- ①独居高齢者等の不参加
- ②参加者の参加意欲維持の困難性
- ③働き盛りの男性福祉委員の活動の困難性
- ④世話役の高齢化と人材不足による活動の困難性
- ⑤企画内容の工夫の困難性
- ⑥活動記録の保存と活用の不徹底
- ⑦社会資源等の情報伝達と周知不足
- ⑧予算確保の困難性、助成金の使途制限による使用の困難性
- ⑨実施場所と回数の不足、実施場所の環境整備不足

### 2. 上記課題に対する対策

- ①社会福祉協議会、自治区、保健師等関係ヶ所等と世話人へのこまめな情報交換と提供
- ②情報交換の場の充実
- ③サロン世話人や福祉委員は、サロン運営にお互いに協力しつつも、住民にも協力を求めて行く必要あり。
- ④サロンの内容についてもアイデアを出し合うなど、主体的に参加する意識をもってもらうことが必要である。

\*高齢化サロンの活性化を図るには、「住民同士の協力とともに、地域全体で取り組む姿勢を示すことが必要となる。

### 3. 今後のサロン運営に関する提言について

(取組例)

\*志手原校区全体でのサロン活動の展開

- ・校区全体での囲碁ボール、グランドゴルフ大会の開催
- ・校区内での、文化祭の開催
- ・隣接区とコラボした行事の開催  
(百歳体操、体力測定、懇親会等)

他に何か良い案があれば教えて下さい。

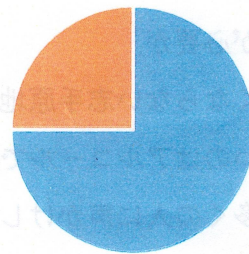
1

居住校区					回答 68
三田	三輪	松が丘	志手原	広野	
7	3	1	7	4	
10.3%	4.4%	1.5%	10.3%	5.9%	
母子	小野	高平	藍	つつじが丘	
1	3	2	5	3	
1.5%	4.4%	2.9%	7.4%	4.4%	
本庄	武庫が丘	狭間が丘	弥生が丘	富士が丘	
0	2	6	8	0	
0.0%	2.9%	8.8%	11.8%	0.0%	
けやき台	すずかけ台	あかしあ台	ゆりのき台	学園	
2	4	2	2	2	
2.9%	5.9%	2.9%	2.9%	2.9%	
市外					
4					
5.9%					

2① 地域見守り活動について

2

①地域見守り活動について				回答 68
A	B	C	D	
51	17	0	0	
75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	

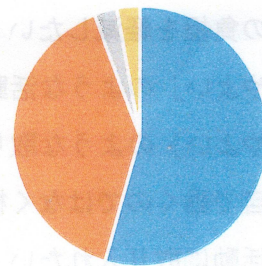


■ A ■ B ■ C ■ D

2

②新たな発見気づき				回答 68
A	B	C	D	
37	27	2	2	
54.4%	39.7%	2.9%	2.9%	

2② 新たな発見気づき

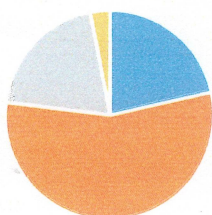


■ A ■ B ■ C ■ D

2

③意欲や考えの変化				回答 65
A	B	C	D	
14	36	13	2	
21.5%	55.4%	20.0%	3.1%	

2③ 意欲や考えの変化



■ A ■ B ■ C ■ D

- A 理解できた・あった
- B 少し理解できた・すこしあった
- C あまり理解できない・どちらとも言えない
- D 全く理解できない・なかった

## 具体的な変化

- サロン型も効果的でハイブリッド型が望ましいと思った
- お世話役や参加者(利用者)が区別されにくい活動が継続しやすい印象だった
- つながりづくりの大切さを再確認した つながりが生まれる環境づくりに努力したい
- 地域住民相互のふれあい話し合いからはじめる事が大切
- 年代男女を問わず地域全体で寄り処を作っていけるとよい
- 飲酒の会では男性が、サロンでは女性が集まりやすいので男女とも集まれる活動をしたい
- コロナ前に戻ればよい
- 男の居場所づくりの参考になった
- 開かれた居場所で見守り活動ができる
- 地域活動は義務的なものではなく楽しいことが大事
- 出てこれない人の見守りを
- 世話役を若い人に求めがちだが同世代で見守り合うのもよい
- 常に参加していた方が欠席したときにサロンの見守りの重要性を再確認 飲酒を通じた実践に取り組むには課題が残る
- 見守りに酒が必要か
- 担い手がなくなる志手原地区のつながりがほしい
- 男性が少ないのはアルコールで解決できるのか
- できるだけ多くの人に声かけしたい
- ステップアップする大きなパワーをいかに引き出すか
- 自分の家族の体調が生活の中心になっている
- 自分の居場所として居場所としてのつながり拠点が大切
- いつかそのうち変化が出ると思う
- 地域の高齢者支援の部会で参考にさせていただきます
- 世話人さんの負担を軽減したい
- 「オアシスやよい」のような活動や世話役の方の負担がかからない仕組みが参考になった
- 「オアシスやよい」のような取り組みの有用性
- 各団体が各自で動くのではなく横のつながりをもって行動したい
- これからの活動に取り入れたい
- 人が直接出会うのが必要
- 自分自身が受ける側にいる 一歩踏み出していく必要があるか
- もっと工夫していきたい
- 地域活動に興味を持ちたい
- 高齢化の取り組み・問題
- 開かれた社会の開かれた気遣いが必要
- さまざまな視点から幅を持たせる必要がある 人の輪が必要と強く認識

- 地域福祉の根幹は見守りにある事を再認識
- 志手原地区の9団体が3団体に再編され運営されていることに興味があった
- 男性を集めるのは酒が有効
- 参加者の減少の中、次のステップに進むためには、開かれた場つくりするには、地域が求めているものは何か考えていきたい
- 地域住民とのつながりが大切
- 大変良かった 人とのつながり、お世話の仕方、もっとまじめに考えて参加したい
- 楽しんで自然に場を作ることの大切さを感じた
- 男性はお酒がないと参加が難しいのか、課題だ
- 見守りとは気になる人を気にかけること、地域とのつながりを事を意識したい
- 「オアシスやよい」の地域デビューを手助けする仕組みは見習う必要がある
- 地域の皆様が参加しやすい環境づくりが参考となった
- 広がりが必要

## 取組んでみたいこと・感想・興味・知りたいこと

- 地域活動で地域事業者が活躍できる場が素敵だと思った
- 世話人だと後継者不足が前面に出るので地域住民が参画できるサロン等を開催したい
- 高齢者だけでなく地域住民全体が対象にした行事をつくっていききたい
- 7040の時点でどこかにつながる取り組みがあればよい
- 結果として見守りになっていたゆるい、見守りができればよい
- 集まる場所がほしい 場所を提供してほしい
- 藤井先生の話が具体的でよかった 活動報告に対しても理解しやすく応答が分かりやすい
- 先生の話は難しかったが人のつながりが大事だとわかった
- 地域食堂(子ども食堂)、特に夕食
- 飲みにケーションはご気楽な試みと思っていた 志手原の取り組みは素晴らしい 開かれた場での見守り合い
- 「オアシスやよい」のようなとりくみ 役員が無理しない取り組み 世話ではなくみんなで参加する
- アルコール付きのオアシスな会にすれば男性の参加者が増すことが理解できた
- コロナの影響について聞けなかったのが心残り
- サロンの運営会議がお互いの見守り活動になっている
- 「オアシスやよい」の飲みにケーションはよいが、男性が少ない地区はやり方を考えるとよい
- 高齢者単身者の見守り助け合いなど地域のつながりをどうしていくか参考にしたい
- サロン会に参加したいかどうか自分でもわかっていない
- 拡大、継続性を考慮してがんばりたい
- 区内の団体を集約し要員を合理化したり人員の確保をしたりしたい
- 男の居場所づくりが必要
- 高齢者が集える場づくり

